

# 敷島北小学校 学校関係者評価書（前期）

平成22年 7月21日（水）

敷島北小学校 学校関係者評価委員会作成

## 第1回 学校関係者評価委員会

実施日：平成22年 7月21日（水）午後7時20分～

会場：敷島北小学校会議室

参加者：学校関係者評価委員 桜井みどり 新津 健 保延昇一 石橋浩二  
河野勝彦（大久保智勇） 今村正人 小宮山正美（長田 敏）  
学校側 校長：臼谷恵子 教頭：古屋宗久 教務主任：長谷部民哉

## I 学校側から提案された内容

学校側教務主任より6月に実施した「教職員自己評価」及び「児童アンケート」を分析しまとめた、以下の項目についての説明が行われた。

### （1）説明の概要

#### ①教職員の自己評価結果から

- ・学校経営方針及び学校教育目標・教育課程に基づいた教育活動がよく展開されている。
- ・学校全体ではPDCAサイクルで教育活動が行われているが、教師個人では意識はしていても、改善までには至っていない。
- ・教職員間で相互の連絡や調整を大切に教育活動をしようと努めている。
- ・危機管理について、本校の施設面で設計上いくつかの問題点は見受けられるが、その都度安全に対する意識を喚起し対応している。
- ・本年度から週1時間の「外国語活動」の時間が設けられたが、ALTと事前の打合せをしっかりと行い指導している。

#### ②児童のアンケート結果から

- ・学習面において、「A評価」が市全体より低い項目があるが「B評価」まで加えるとあまり差はない。しかし、授業や教師に対して積極的に関わりを持つようとする意識が低い傾向が伺える。
- ・睡眠時間については、3世代同居が多いせい「A評価」の割合が多い。
- ・読書については、おおむね好きな児童が多い。

#### ③自己評価・児童アンケートの相関グラフから

- ・学級、学年、学校の集団づくりの観点から教師と児童の相関はおおむね良好と言える。
- ・教師側の意図している授業に対して、児童からの積極的な質問や意見が少ない。

### （2）今後の方針（改善策）

#### ①人間関係を大切にした教育

- ・今回の人事異動で教職員8名が赴任してきた。新しい人間関係に戸惑いながら子ども達との生活に日々奮闘している。北小学校の特色でもある人間関係を大切にした指導をこれからも怠らないようにしたい。

#### ②共通理解を図りながら指導する

- ・小さい職場の利点を生かし、特に生徒指導については、「校内生徒指導委員会」を全職員で行い、児童理解と全校体制での指導を今後も行っていく。

#### ③一人一人を大切にした学習指導

- ・個別指導については、きめ細かく対応しているので、今後は自分の考えを積極的に述べるような授業の工夫に力を入れていく。

## Ⅱ 協議された主な内容 評…評価委員 学…学校側

### (1) 基礎基本の充実と児童の自主性を育てるバランスのとれた授業を

学…教員は、「児童の学びを喚起する授業を行っている。」と、答えているが、児童は、「質問や意見を言う。」といった、積極的に授業に関わる姿勢が少ない。児童数が少ない学級が多いため、教師の目が行き届き、手をかけすぎてしまうということも考えられる。

評…教職員数が少ない。児童数が少ない。との説明があったが、教職員数の適正な数は、どのくらいと考えているのか？

学…本校の場合、学年2学級プラス特別支援学級1の13学級くらいが適正だと考えます。

評…先ほどの説明で、教職員数が少ない。ということと、児童に手をかけすぎてしまうということは、相反することのように感じるが…

学…基礎基本を教えていくには、児童数は少ないほうがよいと思います。教師は、複数(TT)で対応するのがベストだと思います。しかし、多様な意見を引き出したり話し合ったりするためには、児童の人数もある程度必要だと考えます。このようなバランスのとれた授業をどのように仕組むか教師の力量を高める研修の必要があります。

評…児童が少ないゆえに、教師の目が行き届き手をかけすぎるため、かえって児童の自主性を奪ってしまうことがあるのかも知れない。

評…一番気になるのが、毎回話題にのぼる「北小の子ども達はわりとおとなしい。」「すばらしい子が多いが積極性に欠ける。」というものです。その原因が、「学校規模にあるのか」「先生の指導法にあるのか」もし、指導法にあるのであれば、改善をお願いしたい。

評…先生が先に手を差し伸べるのではなく、逆にわからないときには自分からアピールできる子ども達を育てて頂きたい。

評…三つの小学校が中学校へ行ったときに、「大人しいのは北小学校の子ども」という評価を払拭していただきたい。

評…3世代同居が多いとか、児童が少なく競争心が育たないと言った地域性があるのかも知れないが…

評…取り組んでもらってはいるが、自分の考えがまとめられて、人前で発表できるような機会を多くしてもらいたい。

学…新聞を使ったスピーチや朝の会での1分間スピーチの発表など自分の意見を言う機会を多く実施し、一人一人の力を高めていきます。

評…前回のこの会議で話題となったことを学校側で取り組んでもらっているので、評価委員会の役割が果たせているようでうれしく思っている。毎回課題となっている、「児童の自主性を育てる」ことに引き続き取り組んでもらいたい。

### (2) アクティブ加配やきめ細かな指導加配等の非常勤講師の有効活用を

評…アクティブ加配ときめ細かな指導加配とは？

学…アクティブ加配とは、1学級の児童数が31名以上の小学校1年生または2年生に対して、少人数学級やTTなどきめ細やかな支援をするために配置されるもので、本校では2年生が対象となっています。また、きめ細かな指導加配も、同様

なものです。対象の学年は、校内で決めます。本校では、児童の差が出始める  
中学年の算数・国語の時間に充てています。

評…どのくらいの時間教えているのですか。

学…2年生の場合は、2年生の学級の中だけで、担任の補助や子ども達の支援にあた  
っています。週5日午前中だけです。20時間です。きめ細かな指導も週20  
時間が上限です。今は、小学校3年生と4年生の国語と算数に入ってもらって  
います。

評…担任の先生と加配の先生の連携はどうなっていますか。

学…担任の先生とのコミュニケーションはよくとれていて、児童の支援に有効に働い  
ています。担任の先生からも感謝されています。これからも、児童の様子を見な  
がら、学級を二つに分けた少人数の授業など、加配の先生方の有効活用を図っ  
ていきたいと考えています。

### (3) D評価をつけた児童の指導を

評…児童のアンケートの中で、A評価やB評価の方に目が行きがちだが、D評価をつ  
けた児童も少ないながらもいる。特に「学校が楽しいですか」「クラスに仲良く遊  
ぶ友達がいいますか」「相談できる友達や先生がいいますか」といった項目は重く受  
け止める必要がある。アンケートを生かす意味からも、D評価を付けた児童の指  
導をお願いしたい。

学…アンケートは無記名ですが、学年別の結果も出ていますので、担任にはアンケ  
ート結果を渡しています。その結果から、D評価をつけた児童もある程度わかりま  
す。一人一人の児童の抱えている問題は違いますので、その子に応じた指導を心  
がけています。

評…不登校の児童はいますか？

学…不登校気味の児童はいますが、担任の取組のおかげで、長期の欠席には至って  
いません。一人一人の児童の居場所作りに心を配っています。

### (4) 児童の安全に対する取組を

評…最近の不審者の情報は？

学…全体的には少なくなっている印象です。

評…危機管理でここが危ないと思われる所がありますか。

学…学校の周りは、完全には囲われていませんが、授業日には門扉を閉めて、昇降口  
の鍵はかけてあります。地域の皆様に見守られていて、安全が確保できているよ  
うに感じます。北小では、防犯パトロール隊や帰り道ふれあい事業などがあり、  
児童の登下校を見守ってもらっています。

評…多くの方々の協力で児童の安全が確保されているようだが、老人クラブの中には  
「俺たちだけに責任を負わせている。」という意見もある。PTAの協力も得る  
中で、児童の安全確保を図ってもらいたい。

学…学校では児童には複数での登下校の指導を徹底していますが、最終的には一人に  
なってしまいます。危険を察知し、回避できる力を防犯教室等使い培って行き  
たいと思います。

## <学校関係者評価書>

### I 全体評価

- ◇児童のA B評価に比べ、教師のA B評価が多いのは、自己を過大評価しているのではなく、誠心誠意子ども達の教育にあたっていると、とらえた方がよいと思う。
- ◇教師と児童、保護者、地域が一体になってよりよい北小教育を創造するために取り組んできた様子がよく分かる。
- ◇基礎学力の定着や児童の学びの意欲を喚起するための取組は、一層充実してきており、少しずつだがその成果も見られる。特に、個に応じた指導においては、TTなどを行いきめ細かな対応がなされている。一方、質問や自分の意見が言えるなど子ども達の学習に対する積極性については課題が残る。
- ◇あいさつは、児童会を中心にした取組によって、次第にできるようになってきている。さらにこの取組を充実させるためには、児童からの自発的あいさつに加えて、保護者・地域からの声かけなどにより一層効果が上がるであろう。また、児童の安全確保、不審者対策としても有効に働くので継続した取組を願う。
- ◇学校だより、学年通信やホームページ等で開かれた学校づくりに努力している。ホームページの更新も増え、内容にも工夫のあとが見られる。

### II 特徴

- ・学級・学年・学校集団づくりの観点から、教師と児童の相関はおおむね良好と言える。
- ・教師側の意図している授業に対して、児童からの積極的な質問や意見が少ない。指導方法の改善を含め、検討する。

### III 今後の課題として意識されたこと

- ・北小の児童の特性として「積極性に欠ける。」「素直でおとなしい。」等あげられるが、中学校へ行くとそれが、マイナスに働いてしまう。小学校段階から、人前で自分の考えが発表できる等コミュニケーション能力をつける授業を推進していく。

### ※特記事項

なし

記載責任者 敷島北小学校学校関係者評価委員 今村 正人